



MONTHLY NEWS

京都画廊連合会ニュース

THE KYOTO GALLERIES FEDERATION OF ARTS

2011
9月号
No. - 437

印象派・ポスト印象派 奇跡のコレクション ワシントン・ナショナル・ギャラリー展

と き／9月13日(土)～11月27日(日) 9:00AM～5:00PM
と ころ／京都市美術館 (祝日以外の月曜休館)
京都市左京区岡崎公園内 ☎075-771-4107

アメリカの首都、ワシントンD.C.にあるワシントン・ナショナル・ギャラリーは、世界有数の西洋美術コレクションで知られる大美術館だ。なかでも印象派とポスト印象派のコレクションは質の高いことで有名。今回日本初公開50点を含む全83点が京都に来ることになった。同館は銀行家アンドリュウ・メロンがアメリカ合衆国の首都にふさわしい美術館を創る夢を抱いて、自らの審美眼と財で集めた絵画130点を含む150点にのぼるコレクションと、美術館設立のための資金を連邦政府に寄贈したことでスタートした。その後も氏の志に賛同する人々が作品の寄贈を続け、今日に至るまで同館の所蔵品約120万点はすべて一般市民の寄贈(作品購入資金と作品そのもの)により成り立っている。同館のコレクションは「アメリカ市民が創った奇跡のコレクション」と称される所以である。本展は、「これほどの質と規模での展覧会は、同館70年の歴史上なかったことであり。これからのないだろう」(同館館長)と言われるほどのもので、同館の「顔」と称される重要作品9点も含まれており、まさに空前絶後の展覧会と言える。



クロード・モネ
「ヴェティユの画家の家」



フィンセント・ファン・ゴッホ
「自画像」

帰ってきた江戸絵画 ニューオーリンズ・ギッターコレクション展

と き／9月3日(土)～10月16日(日) 10:00AM～6:00PM
と ころ／京都文化博物館 (祝日以外の月曜と9/20、10/11休館)
京都市中京区三条高倉 ☎075-222-0888

ニューオーリンズのギッター・コレクションの江戸絵画が一挙に里帰りを果たした。眼科医・ギッター博士と妻イエレン女史は、40年近い年月をかけて優れた日本美術を収集してきた。日本美術の「純粹で、シンプルで、素朴な」美しさ、とりわけ墨線の持つ多様な表現に魅せられたギッター氏は、禅画コレクションを中核に据え、次に文人画、円山四条派、琳派、浮世絵、奇想の画家たち、近代美術へとコレクションを広げた。現在では与謝蕪村や池大雅のほか、伊藤若冲、俵屋宗達、酒井抱一など、江戸時代を中心とした日本美術の一大コレクションとなっている。コレクションは、抽象性と水墨表現を好むギッター氏の視点で集められているが、同時に江戸絵画の二つの傾向を示している。一つは、若冲などの超越した画力、琳派の斬新なデザイン、禅画にみられるユーモアあふれる豊かなイマジネーション。いま一つは山水、花鳥、浮世絵における自然や日常へのあたたかな眼差しとリアリティの表現だ。本展では、ギッター・イエレン財団所蔵の優品107件を、6つのセクションに分けて構成し、「アメリカ人コレクターの見た日本美術の魅力」という視点で紹介している。江戸絵画の奥深さと日本美術を愛する心に改めて気づかされることだろう。



伊藤若冲「達磨」

会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	10/1
		木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
京都国立近代美術館 左京区岡崎公園内 761-4111		視覚の実験室 モノイメナジ/ イン・モーション		「織」を極める 人間国宝 北村武資展													→10/30															
京都国立博物館 東山区東大路七条西 541-1151		細川家の至宝 - 珠玉の永青文庫コレクション -															→11/23															
京都府 京都文化博物館 中京区高倉通三条上ル 222-0888	2F	細川家 永青文庫コレクション1 細川家と京都(～9/4) / 祇園祭-山鉦の名宝-(～10/2) 近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝1 (9/10～11/6) / 出土資料からみる平安京の世界 (9/8～11/13) (月曜休館/19日は臨時開館～翌20日休館)															→10/16															
	3F	新天地を求めた京焼 ～清水焼団地50年の歩み～															→10/16															
	4F	帰ってきた江戸絵画 ニューオーリンズ ギッター・コレクション展															→10/16															
	5F	プレル上田ミチヨツインテラス	面法会能面・狂言面展														絵更紗美術 協会会員 作品展															
		第54回あまがつ会人形展 第66回京都丹平写真展 第17回 小椋会織物展	第19回森小夜子 人形教室展 京都平安花倶楽部 20th押花アート展																													
	6F	玉村咏展「清爽風姿」															絵更紗画林展															
別館	京都アートフリー マーケット2011秋															京都工芸美術作家協会展 小品展	→10/2															

会場		日曜	1木	2金	3土	4土	5月	6火	7水	8木	9金	10土	11土	12月	13火	14水	15木	16金	17土	18土	19土	20火	21水	22木	23金	24土	25土	26月	27火	28水	29木	30金	10/1土
京都市美術館 左京区岡崎公園内 771-4107	本館	フェルメールからのラブレター展																												→10/16			
		ワシントン・ナショナル・ギャラリー展																	→11/27														
	再興第96回院展																												→10/9				
	京都勤労者文化祭書道展		第28回読書法展 関西展				第69回パンリアル展				第30回汎具象展				第40回新作能面展				→10/2														
	別館		第54回新象展				第99回日本水彩巡回展 第10回日本水彩関西支部 合同展				第30回蒼林社展 (水墨画)				第13回 新陶彫京都展				→10/2														
京都府立文化芸術会館 河原町府立病院前 222-1046	1F	彫刻5人展				第35回 日本画光玄展				第41回 京都写真芸術家協会展				第39回 京水会丹青展(洋画)				→10/2															
	2F	第41回 装研会				日本美術会 京滋連絡会展				第40回 遊於書展				第73回創紀展				JISSO展(洋画)	→10/2														
	3F	絵画教室 仲間会作品展																															
京都府立堂本印象美術館 北区平野上柳町26 463-0007	印象とアンフォルメル・具体・墨象-戦後の前衛																												→10/23				
何必館・京都現代美術館 東山区祇園町北側 525-1311	一瞬の劇場 Elliott Erwitt展																												→10/23				
高島屋 下京区河原町四条下ル 221-8811	画廊	藤田新展(洋画)				第7回madoka展 (日本画・洋画)				個の地平(洋画)				土師窯 八児紫石 茶陶展 -陶- 三人展 -芦田直人・久保良裕・堀尾泰彦-				中野嘉之展 (日本画)				→10/4											
	グランドホール	大和円照寺 山村御流 いけばな展				昭和・メモリアル 与 優輝展																								ジバング展	→10/10		
大丸 中京区四条高倉 211-8111	画廊	人気作家洋画展				清水団地創立50周年 記念展 「受け継がれる美と技と心」				物故作家巨匠展				秋の茶道具展				創作博多人形展				→10/4											
	アートサロン																																
	ミュージアム																																
中信美術館 上京区下立売油小路東入 417-2323	人間国宝 江里佐代子の伝言																												→10/16				
並河靖之七宝記念館 三条通北裏白川筋東 752-3277	夏季特別公開 第36回「京の夏の旅」協賛 お屋敷と庭園、そして七宝																																
美術館「えき」KYOTO JR京都伊勢丹7F 352-1111	今森光彦の切り紙 美術館				生誕110年記念 荻須高德展 ~憧れのパリ、煌めきのベネチア~																								→10/10				
会場	日曜	1木	2金	3土	4土	5月	6火	7水	8木	9金	10土	11土	12月	13火	14水	15木	16金	17土	18土	19土	20火	21水	22木	23金	24土	25土	26月	27火	28水	29木	30金	10/1土	
アートギャラリー北野 中京区三条河原町東入 221-5397	貸画廊受付中																																
アーツスペース虹 三条蹴上都ホテル隣 761-9238	ネオ・ キネティック				金田恵輔展				山田心平展				永沼理善(月曜休廊)																→10/2				
アーツスペース東山 東山区三条神宮道東入 751-1830	夏期休廊				第5回 楽しい彫塑α展				大庭英治個展				臨時休廊				多胡喜伸展				→10/2												
イムラ・アート・ギャラリー 左京区丸太町川端東入 761-7372	ジバング展開連企画グループ展																																
一心堂画廊 中京区烏丸通六角下ル 211-1013	常設展(日本画・洋画)																																
芸艸堂画廊 中京区寺町二条下ル 231-3613	木版画常設展(貸画廊受付中)																																
絵草子 東山区新門前通東山西 551-9137	常設展																																
延寿堂ギャラリーソフォラ 中京区二条寺町東入 211-5552	岡安真実 陶展(木曜休廊)												飯野夏実 [ピサニキ&陶] (木曜休廊)																→10/11				
御池画廊 北区小山上総町20-2 492-3083	洋画・日本画常設展(日・祝休廊)																																
カギムラ画廊 中京区河原町四条上ル東入 221-2996	常設展																																
画廊おかざき 岡崎平安神宮道 761-0027	現代工芸作家常設展																																
画廊きよみず 東山区清水五条坂 525-2062	日本画常設展																																
画廊後素堂 中京区新町丸太町下ル 231-0938	貸画廊受付中																																
画廊彩雲 宇治市折居台1-4-40 23-1468	常設展(土・日・祭日休廊)																																

企: 企画および常設を中心に活動する画廊 貸: 貸画廊

[今月の展覧会より]

印象とアンフォルメル・具体・墨象 一戦後の前衛—

と き／8月12日(金)～10月23日(日) 9:30AM～5:00PM
と ころ／京都府立堂本印象美術館 (祝日以外の月曜と9/20、10/11休館)
京都市北区平野上柳町26-3 ☎075-463-0007

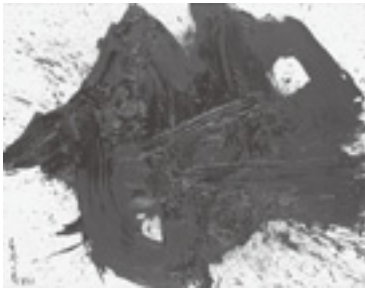
昭和30年代以降、堂本印象(1891-1975)は新しい美の創造のために大きな挑戦をした。徐々に具体的な形象を描くことから、日本画材による墨線と色彩で美を表現する道を目指したのである。濃淡や強弱ある墨線が、奥行き感のある背景の色と重なり合った独自の抽象表現は、印象自身によって「新造形」と名づけられ、欧米でも高く評価された。

しかし「新造形」に至った背景には、アンフォルメルや抽象表現主義など抽象表現が活発化していた同時代の欧米の前衛芸術が大きく影響している。またこの時期、因習を打破しようとする試みは、具体美術協会や書の世界においても共通する動向であったと言える。

本展では、フランスでアンフォルメル運動に参加した堂本尚郎、国内で同様に前衛的な活動を行った吉原治良、白髪一雄らの具体美術協会や森田子龍の墨象の運動との関連も含めて、印象の挑戦的な表現の数々を紹介する。



堂本印象「無間知覚」1960年



白髪一雄「貞宗」1961年
(京都工芸繊維大学工芸史料館蔵)



堂本尚郎「作品60-1」1960年
(京都市美術館蔵)



森田子龍「凍」1957年
(京都国立近代美術館蔵)

一瞬の劇場 Elliott Erwitt展

と き／9月3日(土)～10月23日(日) 10:00AM～6:00PM
と ころ／何必館・京都現代美術館 (月曜休館、但し祝日は開館)
京都市東山区祇園町北側271 ☎075-525-1311

エリオット・アーウィットは1928年、ロシア人の両親のもとにパリで生まれました。

少年時代にラボのアシスタントを経験したことから写真に興味を持つようになり、ロサンゼルス市立大学で写真を学び、写真家として活動を始めます。そして1953年には、写真家集団マグナムの創設者の一人であるロバート・キャパの推薦により、若干25歳でマグナムのメンバーになりました。

エリオットは、社会的事件や著名人を大胆かつ個性豊かに撮る一方、恋人や親子、動物など日常風景も数多く撮影しています。

静と動、男と女、生と死、美と醜、都市と地方、相反するものを一枚の印画紙の上に焼付け、彼一流のユーモアを織り交ぜ一瞬の人生劇場を切り取ります。

また、その一方で、研ぎ澄まされた造形感覚で構成された画面は、見るものを惹きつけてやみません。

本展では、何必館・京都現代美術館が所蔵するオリジナルプリント130点の中から厳選した約60点を展覧いたします。この機会に是非ご高覧下さい。

○ 記念出版『エリオット・アーウィット写真集』 2,800円
www.kahitsukan.or.jp



「New York City, USA」1946



「Colorado, USA」1955

ジパング展関連企画

上田順平・染谷聡・渡邊佳織グループ展

と き／8月27日(土)～9月17日(土) 11:00AM～7:00PM

ところ／イムラアートギャラリー京都 (日・月休)

京都市左京区丸太町通川端東入東丸太町31 ☎075-761-7372

この度、イムラアートギャラリー京都では「ジパング展」(日本橋高島屋での開催後、8月末から10月初頭にかけて大阪高島屋と京都高島屋を巡回)の関連企画といたしまして、ジパング展出品作家、上田順平・染谷聡・渡邊佳織の3名によるグループ展「Jumpei UEDA / Satoshi SOMEYA / Kaori WATANEBE from ZIPANGU」を開催いたします。

「ジパング展—31人の気鋭作家が切り拓く、現代日本のアートシーン。」には、日本の現代アートをにやう総勢31名の作家が参加、6月1日からの日本橋高島屋を皮切りに大阪高島屋、京都高島屋と巡回展示いたします。イムラアートギャラリーからは、本グループ展作家の上田順平・染谷聡・渡邊佳織を含む7名が出品いたします。

日本の伝統や大衆文化をモチーフにした陶磁器作品の制作を続ける上田順平。その卓越した技術と感性、探究心に裏付けられた作品は、生活の中で見慣れているものを違う視点で見せるだけに、私たち現代人を戸惑わせつつも、強く訴えかける力を持っています。漆という素材や、蒔絵・漆絵・螺鈿・沈金といった伝統的な技法を用いながらも、独特の現代的感覚との融合により、動物や怪獣などのイキモノをモチーフとしたキッチンな立体作品を生み出す染谷聡。そして、幻想的で力強い絵画世界で見るものを引き付ける日本画家・渡邊佳織。渡邊はその確かな技術力で、写真家・蜷川実花の監督作品「さくらん」に劇画協力するなど、日本画の枠におさまらずあらゆる分野で注目を浴びています。

陶芸・漆・日本画と三者三様の技法を用い、それぞれに日本の伝統や独自の文化、美意識と向き合い、現代における表現を試みる3名によるグループ展をぜひご高覧ください。

□ ジパング展公式サイト: <http://zipangu.org>

イベントの詳細・最新情報は、公式サイトにて随時公開予定です。



上田順平「ヒツジチョコキンバコ」
陶器 / ceramic H82×W74×D53cm / 2003

e・g・g・o 0025 今井龍満展

と き／9月7日(水)～9月14日(水) 10:00AM～6:00PM

ところ／大雅堂 1階 (会期中無休)

京都市東山区祇園町北側301-2 ☎075-541-7388

黒光りの厚みのある線が形どった、動物たちの作品。こちらの作品は、紙やキャンバス上に上から絵の具を垂らして描くという独特の技法が用いられています。踊るように画面にのびた線は自由で生き生きとした印象に満ち、まるで自らその形を結んだかのようなのです。作家の今井龍満先生は、父である洋画家の今井俊満氏より造形意識を学び、パリでの活動後現在は国内外の個展やアートフェアに多数出品されるなど、広範囲における作家活動を続けられています。本展覧会では小品から30号程の作品を一堂に展示予定です。この機会にどうぞ、御高覧下さいませ。

私はエナメル等の塗料を垂らしてできる、コントロールし切れない少しの偶然性を帯びた線を用いています。私達、生き物はその少しの偶然性を帯びた線のように予測不可能であったり、思い通りにならない不条理を受け入れ、多かれ少なかれ不確定な人生や日々の営みを送っています。しかし、私はその事を肯定的に捉えて作品制作しています。また、今回は個人的に所縁のある京都で個展を開催できるのを大変嬉しく思っています。(今井龍満)

今井龍満略歴

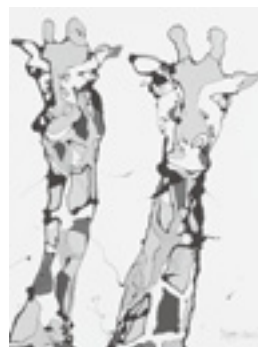
- 1976 東京生まれ
- 1995 パリ・グランショウミエールにてデッサンを学び今井俊満のアトリエで助手として絵画技法、造形意識を学ぶ

[個展]

- 2008 川崎・ギャラリーアートウイング 新潟・中野邸美術館内ギャラリー
- 2009 高知・おおひらギャラリー 銀座・ギャラリーミリュウ 新潟・中野邸美術館
- 2010 新潟・福田画廊 大阪・山木美術
- 2011 新潟三条市・福田画廊D+5 ART GALLERY

[ART FAIR]

- 2009 東京コンテンポラリーアートフェア2009 (福田画廊)
- 2010 台湾・Young Art Taipei 2010 (H-art Beat)
- シンガポール・The Affordable Art Fair Singapore 2010 (H-art Beat)
- 2011 香港・AHAF HK 2011 (H-art Beat)
- 東京・行商〜ギャラリーサーカス2011 (H-art Beat)
- 台湾・Young Art Taipei 2011 (H-art Beat)
- 韓国・AHAF SEOUL2011 (H-art Beat)



「Giraffes」—エナメル、アクリル、紙 (760mm×570mm)



「Cock」—エナメル、アクリル、キャンバス F10 (530mm×455mm)

寄神千恵子陶展

と き／9月9日(金)～9月25日(日) 11:00AM～5:30PM

と ころ／ギャラリー唯 (月曜休廊)

京都市左京区岡崎円勝寺町91(神宮道) ☎075-752-0348

大学入学以来土に触れる生活をして来ました。ここ数年は手びねりによる注器の制作を続けています。美しいフォルムという条件を、注ぐという機能を合わせ持つむずかしい課題ですが、楽しんで取り組んでいます。又、小注器や茶入、ふり出し、なども出品の予定です。

年齢を重ね、精神も少しずつ充実し、効率ばかりを追求しない世界を持てる幸せを感じます。しかし今回の大震災を機に私達の生活の有り方をもう一度考えてみる必要性を感じています。多くの物に囲まれる生活ではなく、少しの物を慈しみながら足りを知る生き方、そんなシンプルライフの中に組み込んでもらえるような器作りをめざしつつ、今回の個展に臨みたいと思います。

寄神千恵子 陶歴

- 埼玉県生まれ
- 1968 武蔵野美術短期大学陶芸科卒
- 1969 京都市工業試験場陶磁器技能者養成修了
- 1970～72 熊倉順吉氏に師事
- 2003 ワークショップ ゲスト・アーティスト (滋賀県立陶芸の森)
- 2003 International Conference on Art and Craft of Teaware (国立台湾芸術大学)

主なグループ展

- 1978 女流陶芸展 毎日新聞社賞受賞
 - 1980 京都市クラフト展 デザイン協会賞受賞
 - 1988 朝日現代クラフト展 優秀賞受賞
カフェ・ノ・アール展 (ベルギー)
 - 1989 朝日現代クラフト展/日本クラフト展
 - 1991 THOUGHT FOR FOOD (ウエールズ、UK)
 - 1999 第五回国際陶磁器展美濃 '99
 - 2003 デザインとアートの挑戦 (岐阜県現代陶芸美術館)
- 受賞
- 1978 女流陶芸展 毎日新聞社賞受賞
 - 1980 京都市クラフト展 デザイン協会賞受賞
 - 1988 朝日現代クラフト展 優秀賞受賞
 - 1995 第4回国際陶磁器展美濃 '95 審査員特別賞 (岐阜)
 - 1996 第4回日清食品現代陶芸めん鉢大賞展優秀賞



はっ・とび 展

と き／9月17日(土)～9月25日(日) 10:00AM～5:30PM

と ころ／ギャラリー鉄齋堂 (会期中無休) (最終日は4:00まで)

京都市東山区新門前通東大路西入ル ☎075-531-6164

6回目の「はっ・とび 京都展」(12年の歩み)

鉄齋堂ギャラリーの川崎正晴社長から背中を押されなければこの「はっ・とび」展はなかったと思います。6回目を迎える事が出来ましたが互いのおもいやり、気遣いがあり、そこから信頼関係が生まれたのでしょうか。せっかく絵との出会いがあったのですから、その事を大事に描き続けるには何が必要なのかメンバー一人一人考えなくてはならないでしょう。私は『うまい』といわれる絵を描くために、この展覧会を開いているつもりはありません。題材から教えてもらったものを大事に自分のからだを通し整理し描き続けたいのです。こつこつとあきらめずに。私も、まったくまだ出来ない状態です。今度、時代を乗り越えた作品、川崎さんをお願いし私達の作品の中に展示していただき、自分達の甘さを正視したいと思っています。

2011年 伊藤髟耳



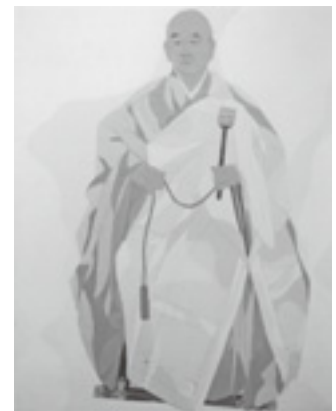
高田峻典「芙蓉」SM

メンバー

- 伊藤髟耳・伊澤美都・石村雅幸・磯部光太郎
- 小田切恵子・木村恵子・杉山 紅・高田峻典
- 出口直介・野崎和弘
- 林 克彦



伊澤美都「とりかご」30S



伊藤髟耳「ある僧」40F

〔今月の展覧会より〕

次代へつなぐ京都の工芸 I 新天地を求めた京焼 ～清水焼団地50年の歩み～

と き／9月1日(木)～9月19日(月・祝) 10:00AM～6:00PM
と ころ／京都文化博物館 3階総合展示室
京都市中京区三条高倉 ☎075-222-0888

人々の高い審美眼に支えられ、京都では豊かな工芸品がつくられてきました。陶磁器の分野においてもわが国の美術シーンを飾る数々の逸品が生まれ、その優れた意匠と高い技術を育む伝統は今日まで受け継がれています。

しかし、昭和の高度経済成長は急速な社会情勢の変化をもたらし、清水、五条坂周辺は市街地化、観光地化が進むことで、容易に作業空間を拡張することが難しく、登り窯の煤煙についても懸念されるなど、都市部に形成された産地ならではの課題を抱えるようになります。陶業者たちは新しい事業展開を模索するなか、昭和36年に新天地を求めて有志が集まり、清水焼団地造成同志会を結成、翌年には清水焼団地協同組合を設立しました。東山山麓の東側に造成された清水焼団地は、住居、工房を併せ持った京都陶業界の主要な工業団地として大きく注目を集めました。

本展では、清水焼団地が50周年を迎えるのを機に、伝統と創造の狭間で新しいやきものに挑戦し続けてきた作家や窯元、同所で活躍する他分野の作家の作品を展覧し、清水焼団地の歴史や未来へむけての取り組みについても紹介します。



楠部彌弼



鈴木治「馬」(個人蔵)



色絵六角段重



今井政之「高砂百合壺」

〔新入会画廊紹介〕

MAEDA HIROMI ART GALLERY マエダヒロミ アート ギャラリー

画廊種別：企画画廊

代表者名：前田博巳

住 所：〒604-0911

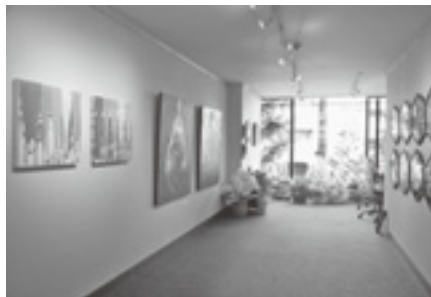
京都市中京区河原町通二条上ル清水町852

電 話：075-741-8757 F A X：075-741-8757

営業時間：11:00AM～7:00PM

定休日：日曜日（展覧会会期中は月曜休廊）

河原町二条上ルの老舗「河原町画廊」の2階にオープンしたマエダ・ヒロミアートギャラリー。代表を務める前田博巳は下鴨の前田画廊にて19年間勤務。日本画、洋画、現代美術など幅広いジャンルで展開する。また、額縁や表具の修理や交換などのコーディネイトのアドバイスや窓口の業務も行う。



会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	10/1										
		木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	(日)	火	水	木	(金)	土	(日)	月	火	水	木	金	土										
画 廊 た つ 東山区神宮道三条西入ル 771-8225		日本画常設展																																								
画 廊 ビーナズ 三条大橋東一筋目上ル東 771-3104		初秋風景 (油) (月曜休廊)															第53回第2日曜 写生会作品展																									
ぎおんギャラリー八坂 東山区祇園町南側 525-1717		貸ギャラリー受付中																																								
ギャラリー青い風 左京区岡崎神宮道東側 752-0182		夏期休廊					上品博保展 (洋画)					臨時休廊					増地保男展 (洋画) (月曜休廊)																									
ギャラリーいちかわ 下京区河原町松原上ル 351-7267		貸画廊予約受付中																																								
ギャラリーM 中京区錦業師高倉西 221-0979		エーゲ海とトルコを描く 松本祐佳															イスタンブールに魅せられて 松本祐佳																									
ギャラリー押小路 中京区押小路園之町東入 212-8345		常設展																																								
ギャラリーカト 中京区寺町御池下ル 231-7813	1F	第8回京陸展					第6回QUATIEBLANC四人展					同志社大学 クラマ画会OB会 くらま画会展					第3回アトリエ・エヌ作品展					嵐彩会展					→10/2															
	2F	坂根弘子作品展					第9回歩み展					第8回アートコア橋本教室展					立命館大学美術研究部OB 「RUAえんじ」展						→10/2																			
ギャラリーかもがわ 上京区堀川出水西入 432-3558		7周年記念 七曜星展					ノブコウエダ作品展 (火曜休廊)																									→10/2										
ギャラリー河原町 中京区河原町二条上ル 231-6249		常設展																																								
ギャラリー祇園小舎 東山区四条通繩手東入 551-3828		MAZENDA 藝術の持つ力・夢					同志社大学スケッチクラブOB 第4回S39年卒有志スケッチ展					ソラマメの ジュエリーと カバン展					京・花街の午後 ～屋形のペット達～ 重永真智子写真展					やすらぎの時展 日本画とちぎり絵 山本信裕・東美					→10/2															
ギャラリー吉象堂 中京区三条柳馬場東 221-3955		現代水墨画会 6人展															街道展															→10/2										
ギャラリー恵風 左京区丸太町東大路東入ル 771-1011	1F	市瀬博之展					一色と光の染色 - 山口通恵を偲ぶ					日下部一司×田中朝子展 (19日休廊)										若手作家連続企画Vol7 市川裕隆展					→10/9															
	2F											渡邊剛志展					武田浪・藤波晃展 (26日休廊)					→10/2																				
ギャラリー佐野 中京区寺町錦業師西北角 221-2767		ご利用申込受付中																																								
会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	10/1										
ぎやらりい思文閣 東山区古門前大和大路東 761-0001		常設展																																								
ギャラリー白川 東山安井東一筋目南 532-2616		常設展																																								
ギャラリー翔 左京区北山通下鴨中通東 724-8154		めずらしい石 と能人形					西村昌佐子銅版画展					清水明・川原崎純子 木工二人展					第10回秋櫻会 日本画展					櫻の会日本画展					→10/2															
ギャラリー16 東山区三条通白川橋西入ル 751-9238		朝井章夫展「循環2011」(インスタレーション) (月曜休廊)										岡田彩希子展 「私は、私のすべての器官であな たを愛す」(インスタレーション)										伊藤祐子展 (平面)										→10/2										
ギャラリー創 中京区河原町御池上ル 251-0522		常設展 (鴨居玲・熊谷守一・下保昭・前田青頓・入江西一郎・宮本三郎 他)																																								
ギャラリー象鯨 中京区姉小路柳馬場東 253-0738		貸ギャラリー受付中																																								
ギャラリー高倉通 中京区高倉姉小路下ル 221-3390		和田隆彦 ザンスカール工房 =鉄のしごと・銅のしごと=					「らふ工房『気取らな い生活』木と布」展					宋梨華 Song Lihua帽子展 2011 in kyoto					篆刻和紙ちぎり絵展 (小品展)										→10/2															
Gallery ちいさいおうち 下京区堂町四条下 090-9977-1559		岡村澄蒼書展「書くよろこび」										ちいさいおうちとアトリエのこども たちと中井敦子展										岡村澄蒼書展										→10/9										
ギャラリー鉄齋堂 東山区新門前東山西 531-6164		常設展 (6日9日休廊)															はっつび展															常設展 (28日29日休廊)										
ギャラリー知(とも) 中京区寺町通丸太町東入ル南側 585-4160		鳥彦 EXHIBITION 「鳥人計画」										船附一裕・松本晴喜 彫刻・油絵二人展																														
ギャラリーなかむら 中京区姉小路河原町東 231-6632		美・京都展 (月曜休廊)															切畑 健「出会う展」(月曜休廊)																									
ギャラリー中井 中京区木屋町三条上ル 211-1253		藤岡智紀展 (月曜休廊)															臨時休廊															中野悟朗展										→10/2
		三人展 (大邊豊/寺口太三/今井宏明) (月曜休廊)																																								
ギャラリーはなうさぎ 東山区神宮道三条東北角 761-9606	10/6	石川瑞美子 (ファイバーアート)					岡本光博 (インスタレーション) (月曜休廊)										山内雅裕 (平面)					井川淑恵 (平面)										→10/2										
	10/8	高野薫 (立体)																				大機伸悟 (陶)										→10/2										
ギャラリー白梅園 北区北野上白梅町63 461-0427		白崎信子 ガラス作品 常設展																																								
ギャラリーヒルゲート 中京区寺町三条上ル 231-3702	1F	貝原浩・本橋成一 スズキコージ3人展					水上勉と友人たち によるチャリティー展					安達蕉苑展 (書) 藤友陽子銅版展					黒遊び 宮本信代・上田晋					たくまたえこ油絵展 東樋口徹展										→10/2										
	2F																																									
ギャラリー美楽堂 東山区神宮道三条上ル 761-9710		日本画常設展																																								
ギャラリーマロエ 河原町四条上ル東側 221-0117	3F	森川真帆展 (染色) (月・休)					櫛田文展 (立体)					黒田沙知子展 (漆装飾)					上田功夫 (ガラス)										→10/2															
	4F	高垣リミ展 (漆立体) (月・休)					稲田成美展 (日本画)					U. S. E. #4 (立体小品) (月・休)										→10/2																				
	5F	「生について」(日本画) (月・休)																																								

